

会 議 記 録			
会議の名称	京都スタジアム（仮称） 検討特別委員会（協議会）		会議場所 全員協議会室
			担当職員 鈴木
日 時	平成30年3月9日（金曜日）	開 議	午後 3時00分
		閉 議	午後 3時53分
出席委員	◎木曾 ○藤本 三上 山本 平本 福井 齊藤 菱田 小島 馬場 明田 石野 <湊議長><小松副議長>		
出席者	<京都府> 【文化スポーツ部】山本理事 [スポーツ施設整備課]星野課長 <亀岡市> 【まちづくり推進部】竹村部長、並河事業担当部長 [都市計画課]関口課長 [都市整備課]笹原課長、山内区画整理担当課長 [政策交通課]伊豆田課長、川内政策交通係長		
事務局出席者	片岡事務局長、山内次長、船越副課長、鈴木議事調査係長		
傍 聴	市民2名	報道関係者1名	議員5名（酒井、富谷、小川、奥野、並河）

会 議 の 概 要

15:00

1 開議（木曾委員長あいさつ）

日程説明

[事務局長 説明]

2 案件

（1）京都スタジアム（仮称）の工事車両ルート等について

<木曾委員長>

本日、報道機関から撮影の許可申請が出ているので、これを許可する。

[京都府文化スポーツ部、亀岡市まちづくり推進部 入室]

[まちづくり推進部長 あいさつ]

[京都府文化スポーツ部理事 あいさつ]

15:04

[京都府スポーツ施設整備課長 説明]

・京都スタジアム(仮称)に関する概要について [動画により説明]

15:12

[質疑]

<明田委員>

工事の時間帯はどのようになるのか。

<京都府スポーツ施設整備課長>

9時から17時、または、18時と考えており、朝の通学・通勤時間帯となる9時までは搬入しない。現在のところ、どうしても夜間に搬入が必要となるものはないと聞いているが、可能性がないわけではない。若干は出るかもしれない。

<明田委員>

特別な場合を除いては、9時から18時ごろとなるのか。

<京都府スポーツ施設整備課長>

その通りである。

<石野委員>

資料によると、工事車両は京都縦貫道から国道9号を渡り、馬路町、保津町を通ることとされている。最近、朝に2～3台のダンプカーがクニッテルフェルト通りを走っている。どの工事のダンプカーであるかは、ゼッケンをつけていればわかるが、どのようになっているのか。

<京都府スポーツ施設整備課長>

現在は、くい工事を実施しており、くいを積んだトラックは千代川町から入ると聞いている。クニッテルフェルト通りの車両については、確認しないとよくわからないが、そのようなことはないはずである。通常は、スタジアム工事のゼッケンは、トラックのフロントにつけている。

<木曾委員長>

入ってくる工事車両ではなく、帰る車両のルートについて確認したいということである。

<京都府スポーツ施設整備課長>

帰りについても、資料に記載している赤の点線で示しているルートを通行する。

<木曾委員長>

帰りのルートについても、赤の点線で示しているルートを通行するとのことである。

<京都府スポーツ施設整備課長>

今の話を含め、確認と再徹底をしていきたい。

<福井委員>

駅北の土地区画整理事業の工事車両も来ていると思うが、スタジアムの工事車両と一緒にしてしまうのではないか。

<京都府スポーツ施設整備課長>

スタジアム工事が始まったこともあり、どの工事車両かわからないという問題が起こり得るので、土地区画整理組合に確認した。道路工事については、これからは二次製品を並べる仕事が増えてくるので、資材搬入する相手先との関係もあり、国道9号からクニッテルフェルト通りを通ることで確認している。また、周辺では保津川かわまちづくりの工事も行われており、これまでに幾らか、

集中した時期があったことは推測される。

<齊藤委員>

資料の工事車両搬入台数予定表に、屋根工事と記載されている。クレーンは遅くて邪魔になるが、クレーン車両が記載されていないのは、現場に置いておくからなのか、それとも使用しないからなのか。

<京都府文化スポーツ部理事>

今回の屋根工事では、日本で2～3台しかない600トンのクレーンを2機入れている。工事の効率を上げるために、工事ヤード内であらかじめ地組みして、つり上げていく工法となる。現場でクレーンを確保した期間は、基本的には中で組立てて、入れっぱなしとなり、その後、解体して出すこととなる。効率をよくするため、大型車やクレーン車の使用回数も非常に限られてくる。

<馬場委員>

白い粉を現場に大量にまいていると聞くが、それは何であるのか。

<京都府スポーツ施設整備課長>

セメント系の地盤改良材である。

<馬場委員>

酸性土を中和するために、まいているのではないのか。

<京都府スポーツ施設整備課長>

酸性土を中和するためのものではない。

<馬場委員>

工事車両が通るのが9時から17時ごろとのことである。南丹高校の前を大きな車両が通るが、これについて高校と話をしているのか。授業が成り立たないことにはならないのか。

<京都府スポーツ施設整備課長>

南丹高校とも調整している。基本的には、授業が成り立たないような大きな音は想定していないが、もしそういうことがあれば、当然対応していきたいと考えている。

<馬場委員>

それはデシベルで決めているのか。

<京都府スポーツ施設整備課長>

通行時において、過積載をしないとそのような音はしないと認識している。

<馬場委員>

過積載を心配している。

午後5時は下校時間でもあるが、交通安全員の配置は考えているのか。

<京都府スポーツ施設整備課長>

今のところ交通安全員の対策は考えていない。状況を見ながら、安全運転の徹底と、朝礼等で注意を促していきたいと考えている。

<馬場委員>

工期がアユモドキの産卵期と重なっている。アユモドキの産卵期には、試合をしないと明記されているが、工事はどうするのか。

<京都府スポーツ施設整備課長>

工事についても、大きな音や振動が出るので行わない。

<木曾委員長>

10トントラックは、資料の赤字のルートを通行されると思うが、それ以外の

車両は色々なルートを通行することが考えられる。市道北古世西川線は3月末に開通するが、狭い箇所がある府道王子並河線と並行している。三宅踏切と交差する箇所もあり危険であり、10トントラック以外の工事関係車両も進入しないようにしていただきたい。信号機が設置されれば問題ないが、クニッテルフェルト通りが混んでいるときには、そのルートを通る可能性があるので、工事業者に徹底するようお願いしたい。

<京都府スポーツ施設整備課長>

基本的にはメインルートで10トン以上の車両、サブルートでそれ以外の車両が往復で通行するように指導している。従って、工事車両については、市道北古世西川線を通らないように、徹底して指導していきたい。

<福井委員>

工事車両とは、例えば、現場監督が乗る車も含めているのか。

<京都府スポーツ施設整備課長>

工事車両とは、資材の搬入・搬出に使う車であり、工事作業員や関係者が通勤で使う車両は含んでいない。

<福井委員>

工事関係者の車両台数はそれほど多くないのか。

<京都府文化スポーツ部理事>

工事業者である竹中工務店JVは、基本的にはPC部材を使って組立てる等、新しい技術が使われることになっている。ガンバ大阪の4万人規模のスタジアム工事の実績では、最盛期で360人ほどの作業員が入っていたと聞いている。これだけの大工事にしては非常に少ないものであり、その工法を使おうとしている。作業員の通勤については、各方面のルートが考えられるが、亀岡市内で過去に痛ましい事故があった経過の中で、安全教育を徹底しながら、市内の道路を通行するよう、あらためて指導していきたい。省力化、人員削減を図りながら、主要な工事資機材の搬入・搬出等については、メインルートの通行により、しっかりと進めていきたい。

<京都府スポーツ施設整備課長>

土砂の搬出入は基本的にはないことを補足する。

<平本委員>

水質調査の結果について、亀岡市としては定期的に報告を受けているのか。

<まちづくり推進部長>

亀岡市が京都府の調査報告を受けることはないが、環境保全専門家会議のワーキンググループ会議で報告されることがある。平常数値が出ていれば、管理できているという状況となる。

<平本委員>

必要に応じてということではどうか。

<まちづくり推進部長>

その通りである。

<京都府文化スポーツ部理事>

環境保全専門家会議のワーキンググループ会議は、月1回実施している。その申合わせとして、異常値が出た場合は直ちに緊急連絡を入れ、指導いただきながら、必要な対策を講じることになっている。工事の変化やアユモドキの生態に合わせて、常にチェックいただき、定期的に情報共有しながら進めている。

<福井委員>

亀岡駅正面の78メートル道路については、現道を広げることとなるが、スタジアムとの連動性を考え、こけら落としまでに整備するのか。

<まちづくり推進部長>

2万人の観客を出迎えるアクセス道路であるので、スタジアムが完成する来年12月までとは言い切れないが、オープンに合わせて道路を完成していきたいと考えている。次年度の国庫補助により実施することになるので、整合性の中で実施していきたいと考えている。

<明田委員>

工事車両ルートについて、関係住民への説明は済んでいるのか。

<京都府スポーツ施設整備課長>

関係自治会には説明に行っている。

<明田委員>

説明に行かれていない自治会に私から説明したいので、スタジアムのパンフレットをもう少しいただくことはできるか。

<京都府文化スポーツ部理事>

要望いただければ、市役所に届けたい。

<京都府スポーツ施設整備課長>

パンフレットは起工式にあわせて2千部刷ったが、かなりの部数をすでに配布したので、たくさんお渡しできるかはわからない。後ほど調整させていただきたい。

<政策交通課長>

2月22日から27日の間に、11の自治会と南丹高校に、京都府及び施工業者と一緒に説明に行った。亀岡地区の東部、中部、西部の各自治会にも資料を渡し説明している。

<木曾委員長>

関係する自治会には、資料により説明が終わっていると認識してよいのか。

<政策交通課長>

関係自治会及び事前にスタジアムの説明会を実施した地域には説明している。

<木曾委員長>

スタジアムの防災倉庫とキュービクルの位置はどうなっているのか。かさ上げしているので大丈夫だと思うが、日産スタジアムなどをみると高台に受電設備があり、電源が落ちないような配慮がされている。そのような配慮はされているのか。

<京都府文化スポーツ部理事>

1階の商業施設と室内クライミングウォールの下辺りが防災倉庫のエリアとなり、面積は600平方メートルほどである。フォークリフトの最小回転半径が1.5メートルであり、通路は2メートルを確保している。柱の間ごとに棚を設け、パレットの上に備蓄資材として、アルファ化米、簡易トイレ、飲料水、毛布を備える。数量は1日1万人分程度であり、3日間72時間では3千人分程度の京都府の備蓄資材を入れることを考えている。床面は標高93メートル程度となり、平成25年の台風では、水位が90.05メートルであったので、それよりも1メートル以上高くなっている。トラックを横づけできるようにして、フォークリフトから搬出入することを考えている。

<京都府スポーツ施設整備課長>

キュービクルは、サイドスタンドの1階に設置する。床面から高さ60センチの架台をつくり、15センチの基礎を入れることとしており、標高では9.2メートル程度になる。平成25年の台風18号は、100～150年に1度の豪雨と言われているが、床面はこの時よりも2メートルほど高い位置となる。

<木曾委員長>

安全な位置に備えつけるということである。平成25年の台風18号の際には、三宅浄水場の電源が水に浸かったことがあったのでお聞きした。

<三上委員>

工事車両が通る時に、騒音や振動、砂ぼこりが出る。また、篠町の住民からは、住宅開発でダンプが通り路面が下がったが、何の補償もないことについての相談も受けている。過積載があると、このようなことも起こり得る。アスファルトの厚さも様々であると聞いているが、車両の通行ルートについては大丈夫であるのか。

<京都府スポーツ施設整備課長>

基本的に府道は大丈夫だと聞いている。市道は舗装圧が薄い部分が一部にある。沈下が全くないかどうかはわからないので、実際には工事に入る前に、写真を撮り、現場の状況を確認できるようにしている。

<まちづくり推進部事業担当部長>

幹線道路を主ルートとして選定いただいております、特別支障が出るとは思っていない。仮に、局部的・集中的に回転するような場所があれば、傷むことも想定されるが、これぐらいの計画台数であれば支障はないと考えている。

<木曾委員長>

市道中矢田篠線では交通量が増え、マンホールの周囲がかなりひどくなり、乗上げると大きな振動が出ると聞いている。府道は地盤改良工事をされているので問題ないと思うが、市道でそのようなことが起きた場合には、早急に手立てするということがよいか。

<まちづくり推進部事業担当部長>

通行に支障があってはいけないので、適切に対応する。

<藤本副委員長>

工事車両の搬出入は、平日だけなのか、土・日や祝日も含むのかどちらか。

<京都府スポーツ施設整備課長>

土曜日には実施することもあると考えている。今のところ、日曜日には一切工事を行わないことで基本的には調整しているが、今後の天候等によっては、全くないとは言い切れない。

[京都府文化スポーツ部、亀岡市まちづくり推進部 退室]

<木曾委員長>

緊急の場合を除き、3月定例会中に本特別委員会を実施しないと考えているが、これでよいか。

—全員了—

15 : 53